



令和5年6月9日
横浜市港湾局政策調整課
横浜川崎国際港湾株式会社
横浜港埠頭株式会社

横浜港のカーボンニュートラルポート形成に向けた水素利活用調査結果を NEDO報告会で発表します

横浜市、横浜川崎国際港湾株式会社及び横浜港埠頭株式会社の3者は、令和3年に、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業である水素製造・利活用ポテンシャル調査事業に採択され、2か年にわたって『横浜港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた水素利活用システム検討調査』を行いました。

この度、「NEDO水素・燃料電池成果報告会 2023」にて、本調査結果について発表及びポスター展示を行います。

1 調査概要

事業テーマ：水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発／
水素製造・利活用ポテンシャル調査

件 名：横浜港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた水素利活用
システム検討調査

調 査 期 間：令和3年6月～令和5年3月

2 報告会概要

名 称：「NEDO水素・燃料電池成果報告会 2023」

日 時：7月13日（木）・14日（金）各日程とも9:00～18:00 予定

横浜市発表時間 7月13日（木）15:50～16:10 B会場 発表番号 B1-12

会 場：パシフィコ横浜 アネックスホール（対面・オンライン併用）

URL：https://www.nedo.go.jp/events/SE_100001_00020.html

※水素製造・利活用ポテンシャル調査全28件のうち、本件のみが発表対象です。

（他の調査案件はポスター展示のみ実施）

3 調査内容

横浜市臨海部から排出されるCO₂は横浜市域全体の約4割を占めることから、臨海部の脱炭素化が横浜市及び横浜港のカーボンニュートラルの実現に大きな役割を果たすと考え、①水素製造・調達ポテンシャルと②水素利活用ポテンシャルを調査し、③水素利活用トータルシステムの検討を行いました。

本調査は我が国の港湾管理者が水素利活用を検討する際の参考資料になると考えています。

※調査報告書はNEDO成果報告書データベースにて一般公開されます。

https://www.nedo.go.jp/library/database_index.html

お問合せ先

横浜市 港湾局政策調整課	カーボンニュートラルポート担当課長	中村 仁	Tel 045-671-7279
横浜川崎国際港湾株式会社	経営企画課長	鈴木 康弘	Tel 045-680-6636
横浜港埠頭株式会社	技術部SDGs推進課 課長代理	桑本 良治	Tel 045-671-7298